授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
病態学概論	1年次	後期	1	15	有

科目責任者	十文字　翼
授業概要	看護を実践するにあたって、病気の成り立ちや臓器をこえて共通する炎症・循環障害・腫瘍など概要の理解を深める。
目標	1．病気の内因と外因について理解できる。 2．細胞・組織の損傷による形態、機能変化と適応現象が理解できる。 3．免疫の役割とアレルギー疾患について理解できる。 4．感染の成り立ちと主な感染症について理解できる。 5．循環障害によって引き起こされる症状を理解できる。 6．代謝障害によって引き起こされる症状を理解できる。 7．個体の老化と老年症候群について理解できる。 8．先天性異常と遺伝性疾患について理解できる。 9．腫瘍の定義と分類について理解できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	1）病理学概要　：病気の原因①内因②外因③医原病と公害病 2）細胞組織の損傷と修復、炎症	中山	講義
2	3）免疫、移植と再生医療　①免疫と免疫不全②アレルギーと自己免疫疾患③移植と再生医療 4）感染の成り立ちと主な感染症	中山	講義
3	5）循環障害①循環障害（うっ血・虚血・側副循環・血栓症塞栓症・出血・梗塞）	中山	講義
4	6）代謝障害　①細胞の損傷と適応（委縮・肥大・化生）②物質沈着　③脂質代謝障害　④タンパク質代謝障害　⑤糖質代謝障害	中山	講義
5	7）老化と死　①細胞の老化と個体の老化　②加齢に伴う諸臓器の変化　③個体の死　7）生活習慣と環境因子	中山	講義
6	8）先天異常と遺伝性疾患①遺伝子異常　②染色体異常による疾患（性染色体異常・常染色体異常）	中山	講義
7	9）腫瘍　①定義と分類　②悪性腫瘍の広がり　③腫瘍発生機序・発生因子　④診断と治療	中山	講義
8	試験		—

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　病理学　疾病の成り立ちと回復の促進①　医学書院
参考書	なし
評価方法・基準	試験(100%)